

【資本政策の基本的な方針】

当社の資本政策は、(1)中長期的なROE向上、(2)安定性に業績連動を加えた株主還元、(3)長期的な成長と資産回転率向上のための投資判断基準、(4)財務レバレッジの向上と安定性のバランス、の4点により構成しています。

(1) 中長期的なROE向上

当社は、ROE（親会社所有者帰属持分当期利益率）を持続的な企業価値増大に関わる中核的な指標と捉えています。売上高利益率、財務レバレッジ、および総資産回転率を常に改善していきます。

(2) 安定性の上に業績連動を加味した株主還元

株主還元については、親会社所有者帰属持分配当率（DOE）の目標値を設定し、継続性・安定性を保持した上で、当期利益に対する比率（連結配当性向（DPR））目標を設定し、業績が好調な場合の連動性を高めた配当を実施します。配当に加え、自己株式の取得については、市場環境、資本効率等に鑑み適宜実施する可能性があります。

(3) 長期的な成長と総資産回転率向上のための投資採択基準

長期的な成長と総資産回転率向上のための投資の規律として、リスクと戦略性のランク別に、投下資本利益率と投資回収期間を設定し、投資を厳選します。

(4) 財務レバレッジの向上と安定性のバランス

成長投資の加速と株主還元の増大により、財務レバレッジを長期的に改善するとともに、継続的・安定的に企業理念を実現するため、健全なバランスシートを維持し、結果としてROEの持続的な改善を実現します。

当社では、こうした資本政策によって、成長投資と安定した株主還元を両立し、持続的な株主価値向上に努めていきます。